令和９年度 沖縄県委託訓練内容の必須・推奨事項について

1. 基本的考え方（総論）

本県の雇用情勢は有効求人倍率が１倍を超えて堅調に推移しているものの、求職者が「スキル・資格習得」を重視するのに対し、企業側は「実践的な職業能力」を厳選して採用する傾向が強まっています。

このミスマッチを解消し早期就職を確実に実現するため、令和９年度の委託訓練においては、以下の共通事項を推奨します。

【全分野共通の必須事項】
・すべての分野（長期高度を除く）において、AI 等を活用した業務効率化を見据えこれまで実施しているデジタルリテラシーのカリキュラムに加え「情報セキュリティに関する事項のカリキュラム」を設定すること。

【全分野共通の推奨事項】
＜カリキュラム共通事項＞
・企業が採用時に重視する「対人コミュニケーション力・ビジネスマナー等」の習得を組み込むこと。

＜就職支援共通事項＞
・訓練初期（訓練初月など）から受講生の希望雇用条件を確認し、早期からハローワーク等と連携した求人マッチング・個別相談に取り組むこと。

2. 分野別計画策定における推奨事項

※基本となる訓練に加えて推奨事項を盛り組んだ場合に選定時に加点。

(1) IT・Web・デザイン分野

〇現状
・採用選考において実務経験や実績を重視する傾向が強まり未経験者の採用ハードルが高まる一方、一般企業を含めた社内 DX や業務改善人材の需要は急増している。
〇訓練推奨事項
・「IT 基礎知識（OS・ネットワーク・セキュリティ)」「プログラミング基礎」「データベース基礎」等に即した資格の取得。
・採用選考で能力を客観的にアピールできるよう、「訓練中に作成したプログラム、Web サイト、業務改善ツール等の製作物」を作成・提示できる実践的なカリキュラム編成。
・現場で需要の高い業務効率化ツールや生成 AI の利活用スキルの付与。
〇推奨就職支援事項
・IT・Web 専門企業に限らず、他分野でも当該人材を求める企業への就職も含めた幅広い求人開拓・マッチング。

(2) 医療事務分野

〇現状
・医療・歯科・調剤事務および医薬品登録販売者の需要は底堅い一方、医薬品登録販売者試験の難化や電子カルテ等のデジタル化への適応が求められている。

○訓練推奨事項
・年々難しくなっている各種医療事務および医薬品登録販売者の資格取得にむけた試験対策強化などの取組。
・電子カルテやレセプト請求のデジタル運用に対応した実務知識の付与。

（3）営業・販売・事務分野
○現状
・求職者の希望が集中する一方、企業の採用選考が厳格化しており、定型事務の省人化に伴い付加価値の高い実務スキルが求められている。
○訓練推奨事項
・日商簿記や MOS 等の需要の高い資格取得支援。
・基本的な PC 操作に加え、生成 AI や自動化ツールを活用したデータ集計・文書作成等の実践的能力の習得。

（4）介護・福祉分野
○現状
・県内の人手不足が著しく求人数・就職率は高水準である一方、受講生の確保が課題となっている。
○訓練推奨事項
・職場実習や職場見学を取り入れ、実際の業務理解と就職前の不安解消を図り、現場適応力を高めるカリキュラム編成。

（5）建築・不動産分野
○現状
・慢性的な人手不足が続いており、現場作業以外の図面管理や宅建などの法律上の専門事務を担う人材のニーズが高い。
○訓練推奨事項
・不動産分野：宅地建物取引士（宅建）等の関連法規・実務知識の習得。
・建築分野：CAD 操作技術および建設業関連簿記の知識・技能の習得。

（6）理容・美容分野
○現状
・訓練ニーズが高く就職率も良好に推移しているが、サロン現場での即戦力となる実技力・対人接客力が求められる。
○訓練推奨事項
・サロン現場を意識した店舗管理（予約・備品・在庫管理等）、接客等の技術の習得。

（7）旅行・観光分野
○現状
・観光需要の回復に伴い、宿泊・観光サービス業を中心に幅広い人材ニーズが存在する。
○訓練推奨事項
・語学系：訪日外国人に対応する英語等をはじめとする語学力、観光サービス現場での実践的な接客・ビジネスマナーの習得。
・語学系以外：ホテル・レンタカー受付業務や予約管理等を見据えた、PC/AI 等の実務ツールの操作・技能の習得。